

登録コード	E8306402	開講年度	2026			
授業科目	数学教育法特別演習 C				担当教員	榎本 哲士
英文授業名	Advanced Seminar in Mathematics Education				副担当	
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	金曜・1 時限	対象学生
講義室	教育 N 3 0 4 講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観			数学教育学に関して自ら設定した研究課題の解決を通して高めた知見を踏まえ、子どもたちの幸せのために働くことへの意欲を高め、よりよい教育の実現を目指して日々の努力と研鑽を続けることができるようになる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能			数学教育に関する課題を自ら見出し、課題解決のための構想を立て、構想に基づき解決し、その結果や過程を評価し、改善するとともに、新たな課題を見い出したり、数学教育に関する知識や技能を深めたり高めたりすることができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	ゼミ形式で実施し、その中で各自の発表と質疑応答・討議をする。 数学教育に関する目的,カリキュラム,指導法,評価に関する様々な研究や大規模調査（OECD/PISA, 全国学力・学習状況調査）の結果を収集し精読することを通して、各自の研究テーマを決定する。資料のレビューを通じて様々な研究方法を概観するとともに、特に理論枠組みの設定や実証的な調査の方法について習得する。その上で、各自のテーマに基づく研究活動を展開し、その成果を論理的に考察し表現する。					
(5)授業計画	第1回：数学教育の目的・目標に関する先行研究の収集とレビュー 第2回：カリキュラムに関する先行研究の収集とレビュー 第3回：大規模調査の結果の収集と課題の明確化（算数科） 第4回：大規模調査の結果の収集と課題の明確化（数学科） 第5回：指導法に関する先行研究の収集とレビュー 第6回：指導法に関する先行研究の分析と考察 第7回：研究テーマの検討 第8回：研究テーマに関する研究課題の整理 第9回：研究方法の概説（理論研究） 第10回：研究方法の演習（理論研究） 第11回：研究方法の概説（量的研究） 第12回：研究方法の演習（量的研究） 第13回：研究方法の概説（質的研究） 第14回：研究方法の演習（質的研究） 第15回：研究課題の再検討・精緻化 第16回：研究課題に関連する先行研究の収集と分析 第17回：理論枠組みの設定 第18回：理論枠組みの精緻化 第19回：調査の構想（調査の目的・方法・調査問題） 第20回：調査問題の事前分析と精緻化 第21回：調査結果の分析 第22回：調査結果に関連する先行研究の収集と分析 第23回：先行研究に基づく調査結果の検討 第24回：研究成果の吟味（findingの吟味と限界の検討） 第25回：研究レポートの構想（研究の意図・目的） 第26回：研究レポートの構成（理論枠組み・研究方法・調査結果の考察） 第27回：研究レポートの構成（研究課題に対する結果と議論） 第28回：研究レポートの校正（授業アンケートの実施）					
(6)成績評価の方法	教育の専門家に求められる使命感や倫理観,専門的知識・技能について、各回の発表の内容（60％）、及び質疑応答・議論の内容（40％）によって評価する。 評価割合は、若干の調整を行うことがある。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	()大規模調査,()研究課題と()概念枠組み,()調査・作業,()授業改善への示唆,のすべてについて先行研究の成果と限界に基づいた発表及び討議を行えば「その水準にある」。その上でいずれか一つについて発展的な発表及び討議を行えば「やや上にある」、二つについて発展的な発表及び討議を行えば「かなり上にある」、三つ以上について発展的な発表及び討議を行えば「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	【事前学習】事前に各自の探求した内容についてレポートを作成する。 【事後学習】講義内での質疑・討議及び指導・助言の内容をもとに、事後にレポートを振り返り次回のレポートを構想する。 各 1 回の講義あたり事前・事後の学習時間は少なくとも 4 時間、合計60時間以上は確保すること。					

(9)履修上の注意	特になし
(10)質問，相談への対応及び連絡先	榎本：随時 連絡先：satoshi_enomoto@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しない
【参考文献】	適宜紹介する。